

カジノと一体・インフラに巨額税金・ダイオキシン汚染
このまま進めていいのか

2025年の国際博覧会「万博」の大阪開催が決まったことを受け、大阪市の吉村洋文市長が関連の補正予算を提案するなど、万博の準備が動き出しています。さらに維新府市政が、会場予定地である大阪湾の埋め立て地・夢洲（ゆめしま、大阪市此花区）に誘致を狙っているのが、カジノを核とする統合型リゾート（IR）。カジノと一体の万博計画の問題点が、大阪市議会の日本共産党の追及で浮き彫りになっています。

大阪市議会 日本共産党が追及

夢洲の土地造成に地下鉄延伸も

万博関連の補正予算は、下水道などの基盤整備や鉄道整備検討調査はカジノ・ＩＲのためだと指摘。市は「万博開催決

定を契機に、夢洲の街づくりの準備を万博に付随して実施する」と強弁しました。

の埋め立て地・夢洲(ゆめし洲)めしま、大阪市此花区)の土地造成費13.6億円、地下鉄中央線を現在の終点のコスモスクエア駅から夢洲駅(仮称)まで延伸するための鉄道整備

小川氏は、「万博にか
こつけて補正予算を組ん
でまで推進するのはカジ
ノ・ＩＲありきという異
議を唱え、調査でＩＲ誘致に反対が
55%と、賛成の32%を大
阪市民。大阪経済にとってブ
ランコは断念し簡素な万博こそ

常な姿だ」と批判。「読
きく上回っている」とを
示し、「カジノのターゲ
ットは大阪周辺の一般市
民。大阪経済にとってブ
ランコは断念し簡素な万博こそ

念し「命輝く未来社会
のデザイン」というテー
マに込められた持続可能
な社会を実現する立場に
立ち、簡素な万博にすべ
き」と主張し、補正予算
案に反対しました。

万円などを計上。土地造成費用には万博開催に間に合わせるための急速施工分50億円も含まれています。

5日の大阪市議会都市経済委員会で日本共産党の小川陽太議員は、土地造成費用は万博のために事に関連して、埋め立て

日本共産党のこはら孝志議員は6日の港湾消防委員会での質問の中で、

夢洲での道路や下水道工

事に関する、埋め立て

で受け入れたしゅんせつ土砂に、ダイオキシン類による汚染土が混入している可能性があると指摘

市は「国の基準を順守したものを受け入れてい

る」と答弁。こはら氏は1987年以降に受け入れたしゅんせつ土砂約3

800立方メートルのうち、2003年にダイオキシン類の国基準が決まるまで受け入れたものが約3500立方メートルであることを示し、「汚染されていないことを明らかにするた

めにも、調査を行うべき」と求めました。

市としてダイオキシン類調査を

大阪革新懇が検証見学会

進歩と革新をめざす大
阪の会(大阪革新懇)は7
日、万博の会場予定地で
ある夢洲の検証見学会を
行い、24人が参加しまし
た。

ことし9月の台風21号の暴風で、4区のコンテ

夢洲は大阪市の廃棄物の処分場

一行はまず、咲洲(大阪市住之江区)にある大阪府咲洲庁舎(旧WTCビル)の展望云々(地上55階)から、沖合の夢洲を見ました。

大阪をさらに貧乏にするカジノ

コンテナヤードです。西見学後の学習会で講演（おおさか市民ネットワーク代表）は、万博やカーク代表は、液状化の恐れがあることや、南海トラ

のかを知らせていきたい」などの感想が寄せられました。



こはら孝志議員



小川陽太議員